

院内がん登録について

～がん医療の向上のために～

◆ 院内がん登録とは

がんと診断された患者さんの基礎的なデータを病院として集積し、がん診療の実態を明らかにするしくみです。「がん登録等の推進に関する法律」では、がん診療に重要な役割を担う施設での努力義務とされています。

院内がん登録は法律に基づき各施設において実施され、毎年、国立がん研究センターに氏名などの個人識別情報を削除した上で提出、全国の病院における診療件数などの集計が報告書として公表されています。

院内がん登録についてお知りになりたい方は、以下のURLあるいは2次元バーコードを使って「がん情報サービス」をご覧ください。

◆ 院内がん登録3つのメリット

1. 病院ごとの特徴や課題が明らかになり医療の質向上や研究の資料になる
2. 国や地方公共団体ががん対策を計画・実施する際の根拠となる
3. 集計を使って受診先選択の参考とすることができる

◆ 院内がん登録 全国収集データの二次利用および生存状況確認調査について

1. 二次利用

国立がん研究センターに提出された院内がん登録データは報告書を作成するだけでなく下記のような二次利用を行っています。二次利用は定められた審査を経て行われるものです。二次利用を通じて国全体で、より良いがん医療、がん対策に役立てることが期待されています。

- ・データのより詳細な集計や研究解析を行って実態を検討する
- ・全国規模で対象を選び病院からアンケートをお送りして意見をうかがうなどの活動

2. 生存状況確認調査

生存率を把握するために生存状況確認調査を行っています。院内情報で把握できない場合、国立がん研究センターが実施する予後調査支援事業へ依頼し住民票照会を行っています。

もし二次利用および生存状況確認調査を希望されない場合は当院の窓口へお申し出ください。データの管理や制度の詳細は国立がん研究センターがん情報サービスをご覧ください。必要に応じてがん情報サービスお問い合わせフォームもご活用ください。

なお、上記は全般の情報ですが、個別の研究については、各研究者の所属機関における倫理審査委員会の指示に従い情報公開等を行います。

・問い合わせ先：名古屋掖済会病院 病歴管理課

所在地：名古屋市中川区松年町4-66

電話：052-652-7711（代表）〔内線2685・2686〕

F A X：052-652-7783

院内がん登録について <https://ganjoho.jp/public/institution/registry/hospital.html>

がん情報サービス お問い合わせフォーム <https://contact.ganjoho.jp/form/pub/ganjoho/contact>

